

令和5年第2回定例会

市長所信表明に対する代表質問通告一覧表

会派名(氏名)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 公明党 (佐竹 康彦)	1	新市長就任にあたっての決意について	<p>① 前市政において進めた施策のうち、引継ぎ発展させるべきもの、見直していくべきものは何か。市長の認識と見解を伺う。</p> <p>② 市長はどのような「経営哲学」をもって市政に望むお考えか。</p> <p>③ 東大和市における経営資源「人・モノ・カネ・情報」の特徴は何か。また、市長は組織マネジメントにどのように取り組むのか。</p>
	2	市政における三つの経営方針について	<p>① 「誰もが未来への希望が持て、住み続けたいと思えるまちづくり」について、未来の市民に選ばれるまちの必要条件は何か。市民ニーズと時代の変化を捉える取組はどのようなものか。</p> <p>② 「前例踏襲ではなく民間や市民の当たり前を行政に」について、事業の費用対効果と、改善・廃止・縮小を検討した取組について、現場にどのように落とし込むのか。また、和地市政における市民や民間事業者との連携・協働について伺う。</p> <p>③ 「市民の役に立ち、市を発展させる市役所に。職員がチャレンジ精神を發揮し、時代に即した政策を立案・実施する体制の強化」について、職員の能力やモチベーションの向上への取組はどのようなものか。また、「職員の力を發揮するための組織体制の整備や組織風土の醸成」に関し、どのような目標設定をイメージしているのか。</p>
	3	「未来につながる市政」を目指した4つの施策について	<p>① 「子育て・教育で選ばれる東大和に」について</p> <p>ア 所得制限を設けない高校生等までの医療費無償化の実施時期と制度設計、財源措置の詳細について伺う。</p> <p>イ 保育園の待機児童ゼロの継続を進めるための、具体的方途は何か。</p> <p>ウ 学童保育の待機児童対策の詳細と、放課後の子どもたちの居場所づくりに携わる人材と場所の確保について伺う。</p> <p>エ 妊娠期から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」の充実について、どのような施策を加えていくのか。また経済的支援の財源と具体的な制度設計について伺う。</p> <p>オ 今後の教育環境の充実には、ハード面とソフト面においてどのようなものが必要か。また「地域と共に創り上げる」方途について伺う。</p> <p>カ 子どもたちの体験格差の解消を目指す方途を伺う。</p> <p>キ インクルーシブ公園の整備も含めた、市全体にわたる公園の充実をどのように図っていくのか。</p> <p>② 「新しい時代に沿った市政運営の実現」について</p> <p>ア 公共施設の適正管理について、未来志向の検討を行うとのことだが、今後の市における公共</p>

<p>(公明党)</p>			<p>施設の機能と役割をどう捉え、将来像の検討を進める考えか。また、コロナ禍等により、保留となっていた公民館等施設の使用料の見直し方針について、見解を伺う。</p> <p>イ 市のデジタルトランスフォーメーションの進め方と、それによる市民サービスの向上のあり方について伺う。</p> <p>ウ 施策実現のため、広報・広聴をどのように充実させていくのか。</p> <p>③ 「環境と賑わいが両立する東大和に」について</p> <p>ア 東大和の歴史・文化・地理の強みは何か。それらがどのように「まちの賑わい」に有機的に活用されていくと考えるのか。</p> <p>イ 創業支援や地域経済の活性化の実現に向けた取組を伺う。</p> <p>ウ 買い物困難地域の解消へ向けた取組について伺う。</p> <p>エ 「中小企業・地域経済振興基本条例」や「公契約条例」の制定に伴う波及効果はどのようなものか。</p> <p>オ 家庭廃棄物の更なる減量をどのように進めるのか。また、緑豊かな環境づくりへ気軽に参加できる啓発事業とはどのようなものか。</p> <p>④ 「安心・安全で生きがいを感じられる東大和に」について</p> <p>ア 高齢者の地域活動を増やす取組はどのようなものか。当事者である高齢者への情報発信はどのようにしていくのか。</p> <p>イ 「手話言語条例」や「コミュニケーション条例」を制定する政策的効果と、その場合の市民生活の変化はどのようなものか。</p> <p>ウ 「ソーシャルファーム」の認証支援について、認証者数の目標とその達成時期の見込みはどのようなものか。</p> <p>エ 自然災害に強いまちづくりへの展望と、感染症対策の強化について見解を伺う。</p>
<p>2. やまとみどり (床鍋 義博)</p>	<p>1</p>	<p>市政における三つの経営方針について</p>	<p>① 「誰もが未来への希望が持て、住み続けたいと思えるまちづくり」を掲げておりますが、その未来への希望は、どのような施策で実現するものであるのか。また、住み続けたいと思えるようなまちとは具体的にどのようなものなのか。</p> <p>② 「前例踏襲ではなく民間や市民の当たり前を行政に」を掲げておりますが、その中で費用対効果を考慮するとあります。限られた財源の中で最大の効果を上げることは必要なことであると考えますが、そもそも行政が担う事業は、民間では行うことができないもの、すなわち費用対効果が見込まれないものであってもやるべきものが多くあります。それらを見極めた上で取捨選択するべきと考えますが、市長の見解は</p> <p>③ 「市民の役に立ち、市を発展させる市役所に。職員がチャレンジ精神を發揮し、時代に即した政策を立案・実施する体制の強化」を掲げております。職員一人一人の能力を向上させていくことには異論はありません。しかし、チャレンジ精神を</p>

<p>(やまとみどり)</p>	<p>2</p>	<p>「未来につながる市政」を目指しての四つの施策について</p>	<p>十分に発揮させるような組織となるためには、失敗を許容する文化の醸成が必要と考えますが、市長の見解は</p> <p>① 一つ目に「子育て・教育で選ばれる東大和に」を掲げております。その中で、医療費助成の所得制限を設けないということについて、やまとみどりとしては、これを歓迎したいと思います。様々な子育て支援について助成が行われ、また、今後も行われることと思います。これらの助成は、子どもに対して行われるものであり、決して世帯に対する助成ではありません。そのことを踏まえると、今後行われる子育てに関する助成についても所得制限を設けるべきではないと考えますが、市長の見解は</p> <p>② 子どもたちの教育については、いつでもどこでも学習できるスペースの確保が課題であると考えます。これまで、要望してきたところでありますが、現状、場所は少なく、また、期間や時間についても制限があります。子どもたちの居場所を少しでも多く設置すべきと考えますが、市長の見解は</p> <p>③ 戦災建造物である旧日立航空機株式会社変電所については学校の教科書にも載るほど有名な施設であり、子どもたちの平和教育に重要な意義を持つと考えます。しかし、その重要な施設が市内にあるにもかかわらず、市内の小・中学校の全ての児童・生徒が学校行事の中で見学をする機会がないという状況であります。このことについての市長の見解は</p> <p>④ 二つ目に「新しい時代に沿った市政運営の実現」を掲げております。その中で行政のデジタル化を推進するとのことでしたが、そのためには、職員のデジタルに関する能力の向上が求められます。庁内で育成することは当然のことながら、外部の人材を活用することによって迅速に対応できると考えますが、市長の見解は</p> <p>⑤ 三つ目に「環境と賑わいが両立する東大和に」を掲げております。環境については、多摩地区において有機フッ素化合物（PFAS）の有害性について報道されているところであります。当市の状況と対応について市長の見解は</p> <p>⑥ 創業支援については、現在国の機関である中小企業大学校と連携した創業塾を行っていますが、中小企業大学校にその運営を委ねているのでは、市の方にノウハウが蓄積しないのではないかと考えます。市の職員がベンチャー企業というものを理解するためには、いわゆる「丸投げ」するのではなく、創業者と市職員が一緒になって事業を作り上げるということを通して初めて市職員や市役所にノウハウが蓄積されると考えますが、市長の見解は</p> <p>⑦ 四つ目に「安心・安全で生きがいを感じられる東大和に」を掲げております。その中で高齢者支援について、世代間交流のできる場所づくりや気軽に参加でき、充実感を持てる地域活動の機会を</p>
-----------------	----------	-----------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(やまとみどり)			<p>増やしていくとのことでしたが、現在市では、その活動の拠点である公民館の有料化が検討課題に上がっているという状況であります。この件は、これまでやまとみどりとして何度か繰り返し質問しておりますが、地域コミュニティーの活性化を一方でうたいながら、その一方で活動を阻害する施策を行うことは、無意味であります。この件について市長の見解は</p>
<p>3. 立憲国民クラブ (二宮 由子)</p>	<p>1</p> <p>2</p>	<p>1 市政における三つの経営方針について</p> <p>2 四つの施策について</p>	<p>① 行財政運営を経営的な視点から捉える考え方は大いに期待するものである。そこで、市長の考える行政経営の定義について伺う。</p> <p>② 「子どもから高齢者までがいきいきと暮らすことができるまちの実現」について具体策を伺う。</p> <p>③ 事業の効果について、民間企業は売上や利益率などの指標で読み取ることができるが、行政は住民福祉の増進を担保した上で、効果の高い・低いを明確化するの難しいと考える。そこで、効果の検証方法と判断基準について伺う。</p> <p>④ 「市職員の人材育成や能力向上」の具体策を伺う。</p> <p>① 子どもの医療費助成について、「所得制限を設けずに高校生等までの医療費の無償化を早期に実施し、財源については狭山保育園の段階的な廃園を受け、保育園の予算を活用する」とあるが、充当する財源の詳細を伺う。</p> <p>② 教育環境の充実を図るための学校施設更新の課題を伺う。</p> <p>③ 「市民満足度や費用対効果の向上のために最大限の工夫」の具体的な内容を伺う。</p> <p>④ 「スマートフォン等を活用した市民の声を集める仕組み」の詳細を伺う。</p> <p>⑤ 環境や賑わいの創出など、東大和市のノビシロを紡ぎ合わせるには近隣市との友好関係を深めた取組も重要であると考えているが、他市との連携事業を進めるお考えがあるのか伺う。</p> <p>⑥ 地域循環型社会の実現について、「市民が気軽に参加できる啓発事業」の詳細を伺う。</p> <p>⑦ 災害対策について、避難所の運営方法や備蓄品の見直しと、自主防災組織への支援の充実の詳細を伺う。</p>
<p>4. 自由民主党 新政会 (木下 富雄)</p>	<p>1</p>	<p>総括</p>	<p>① 東大和市は市制施行52年目を迎えます。100年の時間軸で考えた場合、折り返し後の50年は、折り返し前の50年とは全く異なるトレンド、社会情勢、価値観となることは明白とありますが、折り返し前の50年をどのような50年と捉えているのか、また、これからの50年はどのようなトレンド、社会情勢、価値観となるとお考えでしょうか。さらには、「未来につながる市政」とは、どのような未来を予測しておりますでしょうか。</p> <p>② 和地市長は、行財政に対する考え方に、「運営」というより、「経営」という要素が増しているとのことあります。「運営」は機能が十分発揮することができるように、組織、機構をうまく働かせるという受動的、「経営」は組織や方針などの大本を</p>

<p>(自由民主党 新政会)</p>	<p>2</p>	<p>三つの経営方針について</p>	<p>整えて、組織が目的を達成するために、計画的に動かす、将来も見据え動かすという能動的なイメージがあります。市長の「運営」と「経営」の違いについての具体的なお考えをお聞かせください。</p> <p>① 一つ目の「誰もが未来への希望が持て、住み続けたいと思えるまちづくり」ですが、市民の皆様には選ばれるまちについて、何を中心に据えて行きたいとお考えでしょうか。</p> <p>② 二つ目の「前例踏襲ではなく民間や市民の当たり前を行政に」ですが、事業には、経営感覚を持って、費用対効果を考慮するとのことであり、さらには廃止・縮小も選択肢ということですが、改めて、市長の考える、民間や市民の当たり前とはどのようなものでしょうか。</p> <p>③ 三つ目の「市民の役に立ち、市を発展させる市役所に。職員がチャレンジ精神を発揮し、時代に即した政策を立案・実施する体制の強化」ということですが、職員研修の充実や新たに政策立案のための組織を立ち上げるなどを行うということでしょうか。現時点でお考えの具体的なものがあれば教えてください。また、特に若手の育成に力を入れるべきと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。</p>
	<p>3</p>	<p>「未来につながる市政」四つの施策</p>	<p>① 一つ目の「子育て・教育で選ばれる東大和に」ですが、子供の医療費助成であります。現在、所得制限が設けられている高校生等までの医療費無償化についてであります。市長の言うようにすべての子供に平等に得るべきものという課題として認識していますが、一方、財源が必ず必要となり、その財源は、狭山保育園の段階的な廃園を受けた保育園の予算を活用するとのことですが、どれくらいの予算を見込んでいるのか。また、早期実施ということですが、いつぐらいの時期をお考えなのか。お聞かせください。</p> <p>また、教育について、未来を担う子供たちの学びの場として、最適な環境を地域の皆様とともに創り上げていくという意味は、現在、導入しているコミュニティ・スクールの推進という意味なのか。また、最適な環境とはどのような環境をイメージしているのでしょうか。</p> <p>② 二つ目の「新しい時代に沿った市政運営の実現」について、老朽化した公共施設について民間連携手法も視野に入れることは大変重要であると考えます。個別の施設ごとに未来志向で検討されるのは、それはそれで大切なことですが、市全体で市をデザインすることも大事だと考えています。市長のお考えを伺います。</p> <p>③ 三つ目の「環境と賑わいが両立する東大和に」ですが、まず初めに、東大和市の「ノビシロ」についてですが、市内の魅力の紡ぎ合わせのイメージが現段階でおありでしたらお聞かせください。また、創業支援や地域経済の活性化についてですが、コロナにより地域経済が傷んでいます。</p>

(自由民主党 新政会)			<p>特に市長の言うように未来志向で考えるに当たって、若者や女性の創業支援は、大変重要であると考えます。創業支援については、地元商工会等、関係団体を活用することが重要だと考えます。市長のお考えを伺います。</p> <p>④ 四つ目の「安心・安全で生きがいを感じられる東大和に」であります。世代間交流のできる場所づくり、充実感の持てる地域活動の機会を増やすに当たって、関係団体の協力が必要と考えますが、市長のお考えを伺います。また、近年、会員が減っている自治会についての市長のお考えもお聞かせください。</p> <p>また、ソーシャルファームを考える場合、その対象者や、既存の計画などとの兼ね合いや、調整が重要と考えますが、市長のお考えを伺います。</p>
5. 日本共産党 (尾崎 利一)	1	新型コロナウイルス感染症、物価高騰などから市民の命と暮らしを守る取組について	<p>① 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行しましたが、学校等での集団感染が報じられるなど、第9波の可能性も指摘され、コロナ後遺症で苦しむ市民も少なくありません。発熱外来支援金創設などによる発熱外来の拡充、保健所の復活など医療・保健体制の強化が求められます。市の認識と対応を伺います。</p> <p>② 物価高騰がとどまるどころを知りません。インボイス制度の中止、消費税の緊急減税、年金や最低賃金、生活保護基準の大幅引き上げを国に求めるべきと考えます。また、多摩26市で最高水準の、家庭ごみ袋、下水道料金、国民健康保険税を緊急に引き下げるべきと考えます。いかがですか。</p> <p>③ 電気料金の大幅値上げのもとで夏を迎えますが、熱中症による死亡事故の半数は屋内で起こっています。住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の対象拡大と金額上乘せを実施することを評価します。同時に、エアコン設置あるいは買い替え補助は命にかかわる切実な要求です。認識と対応を伺います。</p>
	2	行財政運営について	<p>① 市長は、人口減少で進む自治体間競争に生き残るためには「選ばれるまち」になる必要があり、そのために生き生きと暮らせるまちを目指すといっています。自治体施策の目的は「住民福祉の増進」であり、「選ばれるまち」になることではありません。主役が「住民」なのか「まち」なのか、国民主権にかかわる基本問題として、市長の見解を伺います。</p> <p>② 市長を推薦した前市長は、少子高齢化・人口減少のもとで、高齢福祉費が増え、これを支える現役世代が減るので財政運営が大変になるといい、「相当シビアにやっていきたい」と市民サービス切り捨てを推進しました。市長も、前市長と同じ見解でしょうか。伺います。しかし、少子化をもたらしている最大の要因の一つが、社会保障給付がフランスやドイツなどと比べて極端に少ないこと、子育て・教育への公的支出が極端に少ないことであり、市民サービスの切り捨ては、こうした実態にさらに拍車をかけるものではありませんか。</p>

<p>(日本共産党)</p>			<p>伺います。中小企業の半分という大企業の実質法人税負担を引き上げること、1億円を超えると税負担が減少するという富裕層優遇税制を是正することなどによって、応能負担の原則を取り戻し、社会保障、市民サービスの一層の拡充を果たすことこそ求められているではありませんか、伺います。</p> <p>③ 「自治体の当たり前」が「民間の当たり前」であってはならないのは当然のことです。自治体行政の目的は「住民福祉の増進」であり、民間企業の目的は「利益」です。公害問題や長時間過密労働・サービス残業など、行政が民間に対して断固たる対応をとらなくてはならない場合が多々あります。東大和市は、富士通総研に市の事業を総ざらいさせ、その結果をもとに、気候危機対策やジェンダー平等問題などに係る事業まで廃止・縮小してしまいました。こうした間違った路線を転換すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>④ 市長所信表明で「職員の高いモチベーション」と述べられた、この「職員」には非正規職員（会計年度任用職員）は含まれているのでしょうか、伺います。モチベーションを言うのであれば、職員の約55%を占める非正規職員の処遇改善と正規化が必要ではありませんか、伺います。富士通総研が指摘したサービス残業の疑いについてきちんと調査し、働きやすい職場環境をつくることこそ求められるのではありませんか、伺います。</p> <p>市長が選挙公約で掲げ、所信表明でも掲げた施策で、住民福祉の増進に資するものについては、日本共産党も一緒になって実現したいと考えます。以下、伺います。</p> <p>① 所得制限なし、高校生等までの医療費の無償化については、今議会に条例が提出されませんでした。早期に実施とは、いつから実施するのですか。</p> <p>② 公契約条例について、選挙公約では「効果を研究し、制定を目指す」となっていたものが、所信表明では「制定を目指す」がなくなりました。理由を伺います。</p> <p>③ 手話言語条例とコミュニケーション条例について、選挙公約で「制定を目指す」とされていたものが、所信表明では「検討してまいります」とされています。理由を伺います。</p> <p>① 高校生等医療費無償化の財源は狭山保育園の廃園でつくるとのことですが、唯一の公立保育園である狭山保育園廃止は、市の保育に対する公的責任を侵すもので、反対です。無償化にかかる費用は約5,400万円に対して、狭山保育園運営費は2億4千万円を超えており、子育て施策の後退ではありませんか。</p> <p>② 子育て世帯の経済的支援の拡充について、具体的施策を伺います。経済的支援というなら、保護者の最大の負担となっている学校給食の無償化へ踏み出すべきではありませんか。</p>
	3	市長の選挙公約と所信表明について	
	4	4つの施策について	

<p>(日本共産党)</p>	<p>5 公民館へのチラシ配置拒否事件について</p>	<p>③ 少子化だからと、教員や学校を減らすのではなく、少人数学級や教員の増員など教育環境の改善が必要です。公共施設の2割削減を掲げて、真っ先に小中学校統廃合や公立保育園廃園に突き進むのではなく、子どもの最善の利益を図る立場に立つべきではありませんか。</p> <p>④ 戦災建造物を活用した平和教育を市長は掲げました。武力ではなく話し合いで解決する、断固たる大人の姿勢を示さなくてはなりません。「戦争と核兵器のない世界の建設にむけて努力する」ことを誓った平和宣言都市として、平和と市民の命を守るために、敵基地攻撃能力の保有や防衛費の2倍化にきっぱり反対すべきではありませんか。</p> <p>⑤ 市政運営を草の根で支えるのが、公民館活動など、市民の主権者としての活動と成長です。公民館等の有料化の中止を求めますが、いかがですか。</p> <p>⑥ 「行きたくなる市役所」とともに「行きやすい」公共交通の整備を求めます。ちよこバスへシルバークラスでの無料乗車を導入し、運賃を100円に戻すとともに、東京街道団地など高齢者が多い地域や交通不便地域などへの迅速な対策が必要と考えます。高齢者がつながりを感じ、地域活動の機会を増やすうえでも必要ではないですか。いかがですか。</p> <p>⑦ 加齢性難聴が65歳以上人口の半数を占めること、認知症やひきこもり、老人性うつなどの大きな要因となっていること、早期の補聴器装着が症状改善に有効であることは、市も認めているところで、市内で広がっている補聴器購入補助制度を創設するよう求めます。いかがですか。</p> <p>⑧ 国から特養ホーム等の整備に活用する場合、39%の賃料で国有地を提供する用意があると示されてから丸7年間、待機者が多数いるにもかかわらず、市は特養ホーム整備計画を先送りし続けています。速やかに整備し、待機者を解消すべきです。いかがですか。</p> <p>⑨ 気候危機打開は待ったなしの課題です。地球温暖化対策実行計画・区域施策編の策定待ちでなく、太陽光発電設置補助など、実施すべきことが明らかかな事業を速やかに推進すべきです。いかがですか。</p> <p>⑩ 市のあらゆる施策にジェンダー平等の視点を貫く「ジェンダー主流化」を進めるべきですが、いかがですか。</p> <p>① 2023年5月17日、市長を被告とする公民館へのチラシ配置拒否事件の高裁判決が下され、確定しました。市長を被告とする別の訴訟を扱った「裁判ごっこ」という企画のチラシの公民館への配置を求めた市民に対して、書き換えを求めてチラシを受け取らなかったことが、事実上、表現の自由が及ぶチラシの配置を拒否したものであるとして、国家賠償法に基づく慰謝料の支払いを命じられたものです。弁護士費用等を含め、この裁判にかかった費用はいくらですか、伺います。</p> <p>② 行政が、市民の表現の自由を侵害するなどあってはならないことです。再発防止について伺います。</p>
----------------	-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>6. 自由民主党 (蜂須賀千雅)</p>	<p>1</p>	<p>市政における三つの 経営方針について</p>	<p>① 経営方針の三つ目、「市民の役に立ち、市を發展させる市役所に。職員がチャレンジ精神を發揮し、時代に即した政策を立案・実施する体制の強化」について、市職員の人材育成や能力向上について、市長は就任記者会見の席で「民間企業での人材開発部における職務経験豊富な市長自らが職員研修の講師になり実践をしていきたい。」と抱負を述べられていましたが、その具体的な計画と実施時期について、合わせて市長自身の強い思いをお聞かせください。</p>
	<p>2</p>	<p>未来につながる市政 の四つの施策について</p>	<p>① 市政の四つの施策の一つ目、「子育て・教育で選ばれる東大和に」について、将来において世界に通じる子どもの育成をしていく上で、海外都市との友好交流事業の必要性和今後の具体的な取組があれば、合わせて世界につながる教育への市長自身の強い思いをお聞かせください。</p>
<p>7. 無所属 (高峰 章)</p>	<p>1</p>	<p>「高齢者支援について」</p>	<p>① 「未来につながる市政」の四つ目の施策として、「安心・安全で生きがいを感じられる東大和に」の中で、高齢者が世代間交流のできる場所づくりや、地域活動の機会を増やしていくことをあげておられる。 これらのことは、高齢者が住んでいる地域のみにとどまるのではなく、市内の他の地域に出かけることにもなる。高齢者の足代わりとして、ちょこバスの利便性が望まれる。料金180円という高めの設定であること、シルバーパスが利用できないことは、他市と比べ見劣りがし、市のイメージも損なわれかねない。ちょこバスの見直しはつい先日、市民より強く要望された。高齢者にとって、酷な状況になっていないかと考えるが、今すぐの改善は無理としても、今後改善の見込みはあるのか、市長の認識について伺います。</p>
<p>8. 無所属 (大川 元)</p>	<p>1</p>	<p>子育て・教育で選ばれる東大和について</p>	<p>① 所得制限を設けずに高校生等までの医療費の無償化を早期に実施する事について ア 高校生等までの医療費の無償化の財源についての考えを伺う。 イ 東京都との調整等、今後の方向性について伺う。</p>
<p>9. 無所属 (関 綾子)</p>	<p>1</p>	<p>「前例踏襲ではなく民間や市民の当たり前を行政に」の費用対効果について</p>	<p>① 行政の事業は、採算や効率だけで測れないものであり、民間では行うことのできないような非効率な社会の仕組みを担う役割がある。行政事業の効果は、循環型で持続可能な地域社会が成り立つこと、弱者や少数派が数の原理で追いやられることなく、対等で生き生き暮らせることだと考えるが、効果をどのように評価するのか。</p>
	<p>2</p>	<p>「子育て・教育で選ばれる東大和に」の保育園の待機児童ゼロの継続について</p>	<p>① 待機児童をゼロにするためには、定員に余裕があることが必須である。年度の初めで待機児童ゼロでも、年度の途中入園の枠が必要になる。しかし、保育園は定員割れをしているとその分の保育料が入らず、もともとぎりぎり運営している園の経営が厳しくなる現実がある。待機児童ゼロのために、余裕のある定員の確保と、定員割れで保育料が入らないことによる財政的保障を行うのか。</p>

(関 綾子)	3	「新しい時代に沿った市政運営の実現」の市民の声を集め市政に活かす為の、市民との対話について	① スマートフォン等を活用し、市民の声を集め、市政に活かすとのことだが、集めた声のすべてを実現できるわけではない。市の状況や事情と市民のさまざまな事情を一方通行ではなく、対話をして合意を探ることが重要だと考える。市民との対話についてどのように考え、どのようにその機会をつくるのか。
	4	「環境と賑わいが両立する東大和に」の賑わいの創出と空堀川周辺の活性化について	① 東大和の様々な魅力を紡ぎ合わせることで賑わいを創出するとのことだが、今ある魅力をどのように賑わいにつなげていくのか。また空堀川沿いの桜の回廊の実現にむけ、東京都に働きかけるとのことだが、空堀川周辺の活性化について、市として何か行うことがあるのか。
	5	「環境と賑わいが両立する東大和に」の公契約条例について	① 大企業にお金と力が集中する社会では、小さな企業や労働者は力を奪われてしまっている。公契約条例により、市の非正規職員の問題の改善や、環境負荷の軽減、地域循環型経済が進むことを望むが、公契約条例を制定することにより、どのような効果を想定しているのか。
	6	「安心・安全で生きがいを感じられる東大和に」の手話言語条例について	① 早期制定を望むが、今年度どのようなスケジュールで進めていく予定なのか。